

大学等名	順天堂大学（医療看護学部）	申請レベル	応用基礎レベル （学部・学科単位）
教育プログラム名	順天堂大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム （応用基礎基礎レベル・医療看護学部）	申請年度	令和7年度

取組概要

◇プログラムの目的

本プログラムは、全ての学生がデータサイエンスやAIの基礎的な知識や技術を身につけることにより、 Society5.0の社会でそれらを活用する能力や問題解決能力を育成することを目的としています。また、 それらの知識や技能を自己の専門分野で活用し、様々な学びや今後の学習や研究の可能性を広げるとともに、社会にデータサイエンスの基礎的なスキルを持つ有為な人材を輩出することを目指します。

◇プログラムで身に付けることのできる能力

- データや統計学，機械学習，AIについての基本的な知識を身につけ，適切な利活用を行うことができる。
- 必要なデータを抽出し，分析のために整理・加工・変換等を行い，データセットを作成することができる。
- 分析目的に応じて，適切な分析手法，データ可視化手法を選択できる。
- データを活用した一連のプロセスを理解し，データ利活用の流れが理解できる。
- 機械学習，深層学習などの基礎的な概念をプログラミングを通して理解できる。

◇授業科目と修了要件

以下の3科目（3単位）を履修し，修得すること。

情報科学	統計学	統計演習
・ 1 年次 ・ 1 単位	・ 2 年次 ・ 1 単位	・ 2 年次 ・ 1 単位

◇授業の方法

本プログラムは，1年次の必修科目の「情報科学」，2年次の必修科目の「統計学」と2年次の選択科目の「統計演習」で構成されている。いずれも対面授業で行い，学生のICTの実習環境を整備し，他の科目での応用が可能なような科目内容となっている。

◇実施体制

医療看護学部カリキュラム委員会では，学生の学習目的の達成を目的としたカリキュラム立案等を行っている。このプログラムにあたっては，ワーキンググループ（数理・データサイエンス・AI教育プログラムWG）を立ち上げ，プログラムの内容の改善と進化を行う体制をとっている。また順天堂大学数理・データ科学教育研究センター数理科学教育点検・評価委員会にて，学習内容の点検と評価を定期的に行っている。